

かわぐち 川口いきものの通信

Vol.17

2025. 02

はく力満点！川口の生きもののたち！

第19回小学生「身近な生き物」絵画コンクールで市長賞・市議会議員賞に選ばれた6作品を紹介します。応募総数は2,840点で、描かれた生きものの種類はなんと100種類以上もありました！

公益財団法人

川口市公園緑地公社 主催

市長賞



トノサマバッタ

東領家小学校1年 佐竹 奏亮さん



コカマキリ（緑色型）

前川小学校2年 園林 駿さん



ニホンカナヘビ（アゲハの幼虫を捕食）

慈林小学校3年 大城 千鈴さん

市議会議員賞



チャバネアオカメムシほか

戸塚東小学校1年 高鹿 大輝さん



ショウリョウバッタ

木曾呂小学校2年 尾賀 里莉さん



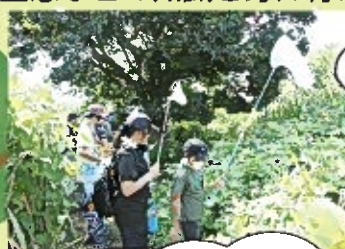
アブラゼミ

新郷南小学校3年 白井 琥太郎さん

来年度も
開催予定！

かわぐち 川口いきものの探検隊！

自然探検隊の隊員となり1年を通して動植物の調べ方や生態などの知識を身に付けましょう！



いざ探検！



木の葉と花で
作ったよ！



水生生物も！



ヤブキリの幼虫



ニホンカナヘビ

令和7年度の「川口いきものの探検隊」は
広報かわぐち4月号やホームページ等で
チェック！



昆虫たちって冬はどこにいるの？

春には元気な姿を見せてくれる昆虫たちですが、寒い冬の間は土の中や葉の裏などで静かに過ごしています。こうして冬を越すことを「越冬」と言い、卵や幼虫、サナギ、成虫と越冬する姿はさまざまです。

卵で越冬する昆虫

カマキリ、コオロギそしてバッタの多くは卵で越冬します。カマキリは卵を泡状のものと包み、木の枝や草などに産み付けるため冬も観察ができます。コオロギやバッタは土の中に卵を産むためなかなか見ることができません。



トノサマバッタ



オオカマキリの卵しょう



トノサマバッタの卵

幼虫で越冬する昆虫…さまざまな物にかくれて寒さをしのいでいます。

土の中 (カブトムシ・セミなど)



カブトムシの幼虫

木の中 (カミキリムシなど)



ウスバカミキリ

水の中 (トンボなど)



ギンヤンマの幼虫 (ヤゴ)

サナギで越冬する昆虫

サナギで越冬する昆虫で代表的なものはモンシロチョウやアゲハチョウといったチョウの仲間です。春に美しいはねではばたく準備をしています。



モンシロチョウ

モンシロチョウのさなぎ

種類によっては…

昆虫はとても種類が多く、同じ仲間でも越冬の仕方が違うものたくさんいます。気になる昆虫の越冬の仕方を調べてみましょう。

成虫で越冬する
ホソミイトトンボ



撮影：沼田 健次さん

幼虫で越冬する
コムラサキ
※写真は成虫



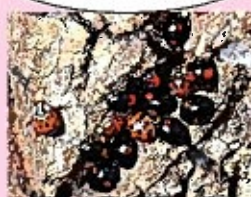
成虫で越冬する昆虫

テントウムシやキタテハなどのチョウの仲間、またバッタの仲間でもツチイナゴやクビキリギスは成虫で越冬します。

はねを閉じて葉の裏でじっとしているウラギンシジミ



おしくらまんじゅうしているみたいだね！



集団で体を寄せ合う
ナミテントウ

撮影：吉野 修弘さん